



令和5年度四国環境パートナーシップオフィス 管理運営等業務報告書(概要版)

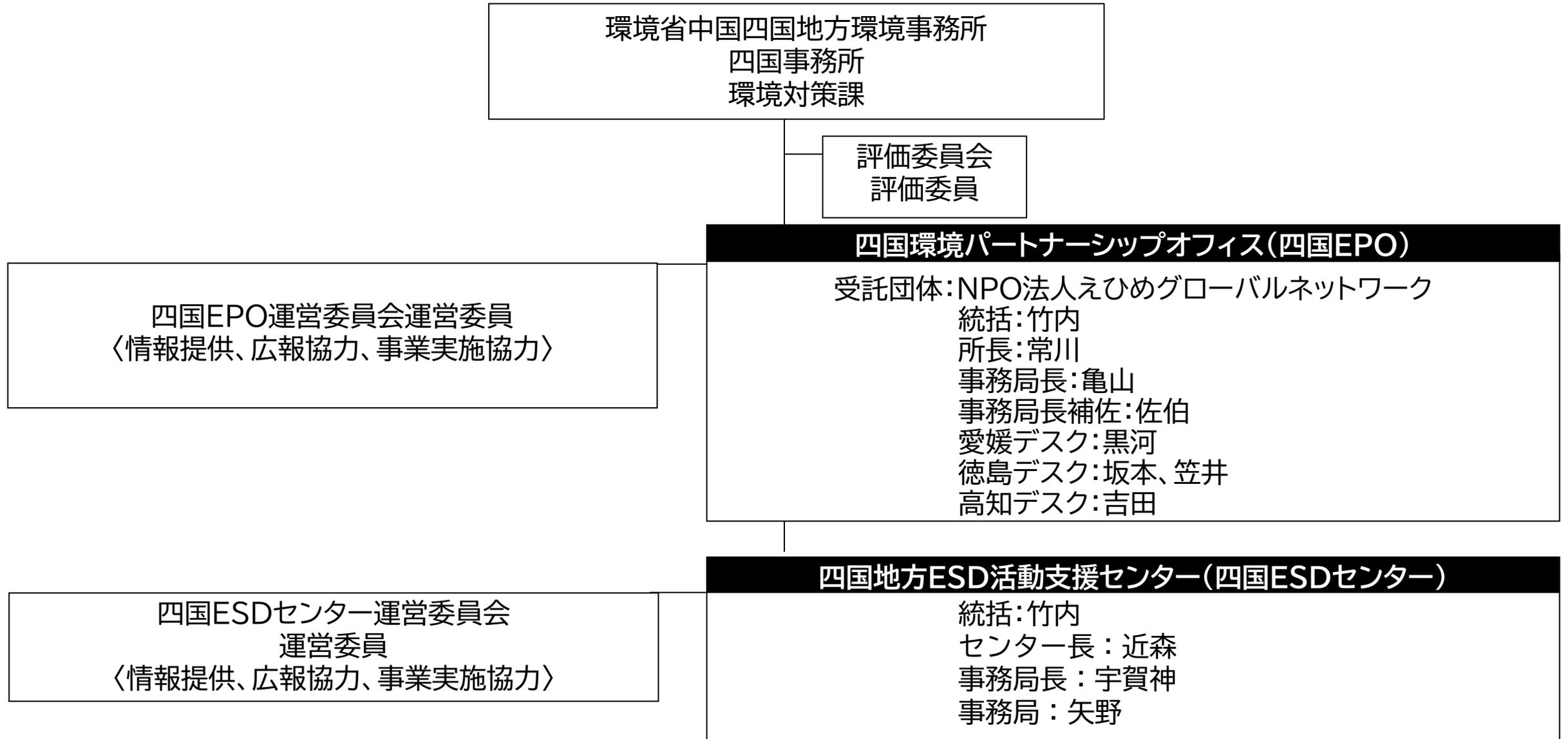
受託団体
特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク



四国EPO関連業務

1. 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業
2. 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務
3. 基本業務
4. 四国EPO運営委員会の開催

体制図



1. 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業 ア LS四国の企画運営委員会及び総会

企画・運営委員会の運営体制 (令和6年1月時点)

共同代表

近森 憲助(鳴門教育大学名誉教授)

大林 圭司(中国四国地方環境事務所四国事務所長)

副代表

島田 治男(香川県中小企業家同友会副代表理事)

山村 直史((独)国際協力機構四国センター(JICA四国)所長)

谷川 徹(四国生物多様性ネットワーク事務局)

笠井 誉子((株)reクラーレット代表取締役、

(特非)GWEI(ジーウィアイ/Glocal Women's Empowerment Initiative)理事長)

委員

徳島県危機管理環境部グリーン社会推進課長

香川県環境森林部環境政策課長

愛媛県県民環境部環境局環境・ゼロカーボン推進課長

高知県林業振興・環境部環境計画推進課長

事務局

中国四国地方環境事務所四国事務所

四国環境パートナーシップオフィス

企画運営委員会(5月、10月、3月)

■第1回企画運営委員会

日時:令和5年5月26日(金)13:00~16:00

参加者:12名(LS四国企画運営委員)

内容:昨年度の事業報告、今年度の計画(案)について関係者間で確認、
広報や実施に関し、主体的に関わる多様な主体から構成される委員の
協力が得られることを確認した。



■第2回企画運営委員会

日時:令和5年10月30日(月)13:00~15:00

参加者:9名(LS四国企画運営委員)

内容:活動報告後、LS四表彰の募集内容の審議、広報・会員募集方法などについて
意見交換を行った。委員からは、広報や発信方法のありかた、表彰対象と
なる優良事例の推薦等で協力が得られることとなった。



■第3回企画運営委員会(書面開催予定)

日程:令和6年3月

内容:今年度事業報告

1. 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業 イ 情報交換会、ワークショップ等

①「対策いろいろ 防災ESD」

日 時: 令和5年9月8日(金)13:00~15:00

場 所: 香川大学林町キャンパス(香川県高松市)

参加者: 約15名

共 催: 南海トラフ香川液状化対策コンソーシアム、香川大学(協力機関)

内 容:

■ **基調講演:**「南海トラフ地震時に想定される液状化現象の原理と対策について」
香川大学・荒木裕行准教授から地震発生時にどのような原理で液状化現象が発生するか、また建物や道路への被害について講演。その液状化被害を防ぐ対策についても具体例を示しながら解説、またその対策には様々な課題があることが説明された。

■ **取組発表:**

- ① 南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム
液状化対策から液状化被害や対策工法の紹介。
- ② 玉津みかん生産者(動画)・四国防災ボランティアネットワーク
西日本豪雨災害と復興に向けた取組等の情報共有

■ **話を聞きに行こうタイム:**

①②に加え、③四国ESDチーム、④多文化共生型の減災社会づくりのブースを訪問。各ブースの担当者の話に対して、熱心に質問やメモをしていたことが印象的だった。南海トラフ地震をはじめ、災害について知る、考える機会となった。



②四国地方における地域脱炭素創生ネットワークング会

日時:令和5年11月16日(木)13:00~16:30

場所:川之江ふれあい交流センター(愛媛県四国中央市)

参加者:120名(地方自治体、企業)

共催:四国経済連合会 協力:四国経済産業局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

内容:

■**基調講演**:「地域で取り組む脱炭素～多様な主体とのパートナーシップ～」

(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)・藤野純一氏から温暖化防止における世界情勢についての説明、脱炭素の取組においては、新たな事業創出はそうそうないため、既存の取組をまねてアレンジし、拡散していく方向が望ましいと言及があった。

■**情報提供**:「企業版ふるさと納税コンサルタントに聞く。最新の活用方法・事例・実績」

(株)カルティブ・小坪拓也氏より、企業版ふるさと納税を行うことのメリットや実際に寄附をした企業や寄附を受け取った自治体の声の紹介を交え、企業版ふるさと納税の活用事例についてご説明いただきました。

■**地方公共団体ピッチ(15地方公共団体×3分)**

四国の15地方公共団体より地域の特徴、脱炭素に関わる取組内容や課題、マッチングを希望する民間事業者の分野、商品や技術等について発表

■**ネットワークングタイム(7ラウンド実施 ※1ラウンド11分間)**

企業担当者が、情報交換を希望する地方公共団体のブースを訪問し、1対1で対話

■**振り返り・閉会**



四国地方における
地域脱炭素創生ネットワークング会

2023年 11月16日(木) 13:00~17:00 参加無料

【地方公共団体】 脱炭素の取組がある民間事業者と協働したい
【民間事業者】 自社で培った脱炭素の技術・ノウハウを他社と共有したい

地方公共団体 民間事業者

地域脱炭素に取り組む地方公共団体と、脱炭素に関する豊富な経験等を有する民間事業者との間で人的ネットワークを構築し、地域脱炭素を推進していくことを目的としたネットワークングイベントを開催します。

脱炭素は地域から。環境課題と地域課題を同時解決！
地域の企業や団体、個人、自治体がつながって、地域脱炭素を進めよう。

プログラム

時間	内容
13:00-13:05	開会挨拶
13:05-13:10	基調説明
13:10-13:40	基調講演:公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)「地域で取り組む脱炭素～多様な主体とのパートナーシップ～」 情報提供:株式会社カルティブ 小坪拓也氏「企業版ふるさと納税コンサルタントに聞く。最新の活用方法・事例・実績」
13:40-13:50	閉会挨拶
13:50-13:55	グラウンドルールの説明
13:55-14:45	地方公共団体ピッチ(15地方公共団体×3分)
14:45-14:55	休憩(15分)
14:55-16:24	ネットワークングタイム(Aラウンド実施 ※1ラウンド11分間)
16:24-16:27	本日の振り返り
16:27-16:30	閉会挨拶
16:30-17:00	閉会後タイム ※任意参加

お申し込み

参加ご希望の方は、下記URLまたはQRコードより詳細をご確認ください。お申し込みください。
<https://chushikoku.env.go.jp/shikoku/topics.00019.html>
申込期間:令和5年10月20日(金)17:00開始

共催:中国四国地方環境事務所四国事務所
ローカルSDGs四国協議(4S四国)、四国経済連合会
後援:四国経済産業局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

お問い合わせ
ローカルSDGs四国事務局(四国EPO内)
E-Mail: info@lsc4s.net
Tel: 087-816-2232
中国四国地方環境事務所四国事務所環境対策課・地域脱炭素創生
E-Mail: MOE-SHIKOKU@env.go.jp
Tel: 087-811-7240

LS四国ビジョン達成に向けたロードマップ意見交換会

趣旨:

- ・LS四国総会・フォーラムで提供された
四国の地域課題に関する情報(四国地方
整備局提供)を共有
- ・今後、課題解決支援チーム等の始動の流れと
並行し、LS四国のロードマップ可視化を試みる

日時:令和5年9月23日(土)14:00~

令和5年9月24日(日)11:00

場所:芸西村の家会議室(高知県芸西村)

出席者:4名



ふりかえり 2023/9/24 (井上、内田、兼松、近森、竹内、常川)

- ①産業・製造(消費者思考、Reの考え方、基本)シェアする(ストーブのこと)
- ②公共スペースのあり方(公園、公民館、廃校利用とか)
- ③ファンド、資金のあり方(災害支援、四国志民ファンド)
- ④教育・人材育成
- ⑤ネットワーク・つながりづくり

経済①③
健康福祉②
自然④⑤

現在の基本的な
構造の改革への
まなざし

- ③ファンド、資金のあり方(災害支援、四国志民ファンド)

コミュニティ ファンド	ファンド・資金のあり方 ・企業 ・行政 ・市民 の支えが必要	私たちの目的に かなう活動への 投資のための 出資を募る
----------------	--	---------------------------------------

- ①産業・製造(消費者思考、Reの考え方、基本)シェアする(ストーブのこと)

①ものづくり
環境に配慮した
デザインづくり

①製造の段階で捉える
・消費者~廃棄ライン
・製造製品Check
(環境配慮の視点)

- ④教育・人材育成

日本NPOセンター における職員研修 に参加してもらう	・育成の機会をつくる ・団体で育成	学校とのつながり 学校外+地域活動	海と山(四国) つながり教育 例:阿南市
若竹?→地域交流 センター	人材一報告書 ・新町川を守る会 ・三額の森をまもる みんなの会	(防災) 避難所運営 中学生リーダー	×引きつがない →行政の仕組み づくり

- ②公共スペースのあり方(公園、公民館、廃校利用とか)

・利用者目線(ともに作る)
・行政からのオープン成績が
必要

協働の形 ●●
CSR,CSV 利用

- ⑤ネットワーク・つながりづくり

新町川と大川村	1時間ボランティア (CSR)	拠点と団体(NPO) 個人 会社
---------	--------------------	------------------------

※10月29日(日)18:00~19:30、10月30日(月)10:00~12:00にも
LS四国企画運営委員と意見交換を行った。

環境省「森里川海プロジェクト・ローカルSDGs四国」企業交流会への協力

日時:令和6年2月2日(金)13:00~19:00

場所:高松国際ホテル(香川県高松市)

参加者:135名(四国内の企業、NGO、一般参加者、他)

主催:中国四国地方環境事務所 四国事務所、日本生命保険相互会社、
(株)藤木工務店

内容:LS四国分科会のキックオフともなるイベントの企画から実施までの
伴走協力を行った。当日は、多様な主体が参画する盛大なイベントと
なった。本交流会をきっかけに、LS四国への登録、新たなマッチング、
つながりが生まれるなどの効果が得られた。



≪第1部≫ 基調講演・パネルディスカッション

■ **基調講演I**:「地域循環共生圏とは何か？期待される企業経営の変革」

(環境省 前環境事務次官・中井 徳太郎)

■ **パネルディスカッション1**「脱炭素、循環経済がもたらす企業価値の変化とは」

■ **基調講演II**:「自然との共生の中での地域発展のシナリオ～森の恵みで四国をモリアゲよう！～」

((株)モリアゲ代表 長野 麻子 (前林野庁木材利用課長))

■ **パネルディスカッション2**「ネイチャーポジティブの流れで四国を盛り上げる !!」

表彰制度の実施

LS四国のビジョン・行動指針の内容に即し、ローカルSDGs(地域循環共生圏)の考え方に資する優れた事業・取組を表彰し、広く紹介することを目的に募集を行い、審査会を経て、賞を選定した。



第3回 (2023年度) ローカルSDGs四国表彰 募集

●募集期間●
令和5年11月14日(火)～令和6年1月5日(金)
(消印有効)

持続可能な四国の地域づくりにつながる取組を募集!
大賞と各部門賞等を決定し、表彰状・副賞を贈呈します。

2021年に新設された「ローカルSDGs四国表彰」は、ローカルSDGs四国のビジョン・行動指針(下記参照)に沿って、ローカルSDGs(地域循環共生圏)を加速する事業や取組を表彰し、広く紹介するものです。過去2回の募集にはたくさんのご応募をいただき、その中から計10団体を表彰しました。第3回表彰では、企業や行政、市民活動団体問わず、幅広い分野の活動を募集します。

ローカルSDGs四国(LS四国)とは…

「いのち豊く、青い国」四国を次世代へというビジョンに向けて、自然資源の備わったつながりを活かし、個人・地域・社会がそれぞれの特性を生かしながら、連携して支え合い、SDGsの目指す持続可能な社会・経済の発展を語りながら持続発展する、活力あふれる四国地域の創造を目指して、2021年2月に立ち上がったプラットフォームです。

LS四国の行動指針

1) ローカルSDGsの考え方を実践する場づくりを進めます。
2) ローカルSDGsの推進をもちきり手の発掘、育成を進めます。
3) イノベーションの導入やESGの視点を取り入れたビジネスの創出及び地域経済循環の向上を目指します。
4) 自然と人が共生する循環型社会を構築し、脱炭素化へのパラダイムシフトを進めます。

ローカルSDGs(地域循環共生圏)

各地域が地域資源(自然資源・経済資源・人的資源等)を有効に活用し、それを持続可能な形で最大限活用するとともに、近隣地域と資源を補完し合いながら、環境・経済・社会の統合的向上を目指す、という地域づくりの考え方を示しています。

第3回 ローカルSDGs四国表彰 応募要領

1 募集対象

【対象者】
・LS四国の会員または地域循環共生圏に関心のある四国内に拠点を置く組織・団体。
【取組内容】
・取組内容は地域循環共生圏、地域づくり等に資すること。
・2年以上の複数年にわたる継続した取組があること。
【その他】
・自薦・他薦は問いません。
・※他薦の場合は推薦者による推薦状を添付ください。
・過去にローカルSDGs四国表彰を受賞団体は、受賞内容と同じ内容の取組は応募対象としません。別内容の取組は応募対象とします。
・過去2年以内にローカルSDGs四国表彰以外で受賞歴のある取組内容は、受賞後の取組を審査対象とします。

2 表彰内容

①ローカルSDGs四国大賞
部門賞及び審査員特別賞受賞団体の中から特に優れた取組。
②部門賞(3部門)
・地域課題解決部門
ローカルSDGs達成や地域の課題解決に資する取組。
・チャレンジ部門
新規アイデアで他事業のモデルとなり得る先進的な取組。
・ユース部門
ユース世代アイデアで、地域課題の解決につながる可能性・実現性の高い取組。
③審査員特別賞
審査員が独自の判断基準等で素晴らしいと評価した取組。

3 応募方法

応募シートに必要事項を記入し、3分以内のプレゼンテーション動画(任意)と合わせて、LS四国事務局まで電子メール、FAX、郵送のいずれかでお送りください。
募集期間: 令和5年11月14日(火)～
令和6年1月5日(金)(当日消印有効)

応募シートのダウンロードは右のQRコード、または下記LS四国のホームページから。
<https://ls459.net/?p=5750>

4 審査項目

- 1) 総合
地域循環共生圏の考え方に即した事業・取組か
- 2) 協働の度合い
多様な主体を巻き込んだ活動であるか
- 3) 将来への展望
持続可能な取組や体制であるか、将来に期待できるか
- 4) 地域への貢献
地域の課題解決や新たな価値創造により、地域に貢献しているか
- 5) 統合性・包摂性
環境・経済・社会の幅広い地域課題の同時解決が期待され、かつ誰一人取り残されない社会を目指しているか
- 6) 先進性の度合い
四国をリードするよう一歩先をいく取組であるか
- 7) 人材育成の度合い
個人や団体の育成に貢献しているか
- 8) 総合的なインパクト
持続可能性への総合的なインパクトの大きさ

5 審査方法

LS四国役員で構成した審査員による審査会にて、「4. 審査項目」を基に審査員の総意を持って、受賞者を決定します。
※応募シートによる事前審査に合わせ、必要に応じて、応募シートに関するインタビュー等のヒアリングを実施します。
※他薦の推薦状がある場合は、一定の評価をします。

6 受賞団体の公表及び表彰

受賞団体は、LS四国のホームページで公表します。また、受賞団体に対してLS四国より表彰します。表彰式は、令和6年2月高松市内で開催を予定しています。

◆提出・お問合せ先
ローカルSDGs四国事務局
〒760-0023 香川県高松市寿町2-1-1
高松第一生命ビル新館3F 四国EPD内
TEL:087-816-2232 FAX:087-823-5675
E-mail:info@ls459.net



2月7日
第3回LS四国表彰審査会
(オンライン)

「第3回ローカルSDGs四国表彰式」開催(2月22日)



受賞団体による記念撮影

【LS四国大賞】地域課題解決部門賞(徳島県)
 「消えゆくものを残し、ふるさとを守り育てる花の里地域活動」
 (四国山岳植物園 岳人の森)

チャレンジ部門優秀賞(香川県)
 「たくさんの笑顔を紡ぐ」取組
 ((株)フクシン)

ユース部門優秀賞(香川県)
 三高みんなの食堂プロジェクト
 (香川県立三本松高等学校)

審査員特別賞(愛媛県)
 暮らしの中で 地域コミュニティを
 ケアするコミュニティナース
 ((一社)KUMAYAMA
 STORIES
 (コミュニティナースin愛媛))

審査員特別賞(徳島県)
 「ペットボトルキャップから
 つくる持続可能な未来
 ~新たな製品と子どもたちを救う
 ワクチンハ~」
 ((有)ハイプラ)



今年の賞状も
 高知県立伊野商業高等学校の
 協力を得て作成した土佐和紙を
 使って作成しました！！

1. 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業 ウ Webサイト等を活用した情報発信、PR



ローカルSDGs（地域循環共生圏）とは ローカルSDGs四国とは

入会・分科会登録申込 イベント・助成金等情報 ローカルSDGs四国表彰

LS四国イベント お問い合わせ

会員情報

分科会

- > 四国ESDチーム
- > 地域エネルギー分科会
- > 多文化共生型の減災社会づくり
- > SDGs事業促進検討分科会
- > 南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム
- > 四国の森自然再生ネットワーク
- > 『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会分科会



ローカルSDGs四国 > 分科会

LS四国の取組状況の他、行政機関の動き、公募・助成金情報、イベント情報を発信

- ・ 掲載記事数:483件 (平均40件/月)
- ・ 閲覧ページビュー数(累計) 25,701件 (平均2,141件/月)



会員や分科会の取組情報等を
地域内外に発信

新規会員の登録作業、LS四国会員のメリットとなる企画や運営、分科会活動の支援等を行った(2024年3月25日時点:会員数は、団体201団体、個人5名、協力機関15機関、アドバイザー3名)。

LS四国の入会（会員登録）をお願いします！

会員になると（以下、一例を示す）

● 情報収集・共有・発信ができます！

- ・国などの補助金の情報がタイムリーに届きます。
- ・SDGs・地方創生等の取組の情報が知れます。
- ・自団体のSDGs・地方創生等の取組を発信できます。

● マッチング・仲間作りができます！

- ・分科会活動で一緒に取り組む仲間ができます。
- ・課題解決、取組促進に当たってのシーズを持った方との出合いの場を提供します。

● 会費は無料です。

※会員になっていただいた後の負担はございません。

会員登録はこちらから！！

以下のリンクもしくはQRコードの「入会申込書」に必要事項を記載の上、LS四国事務局 info@ls459.netまでご提出ください。
https://ls459.net/?page_id=51



ローカルSDGs四国
地域エネルギー分科会

第五次環境基本計画を踏襲して
具体化と事業化する
2022.07.12



LS四国入会申込状況報告(各県業種別累計)
*2024年1月31日時点の累計

業種	徳島	香川	愛媛	高知	四国外	全国
NPO・NGO	2	4	6	4	1	17
サービス業(他に分類されないもの)	0	7	6	1	2	16
卸売業・小売業	0	5	2	1	0	8
金融業・保険業	4	7	6	3	2	22
建設業	1	3	5	5	0	14
公務(他に分類されないもの)	6	5	22	8	1	42
社団法人・財団法人	2	2	7	0	0	11
製造業	7	11	8	2	1	29
大学・教育機関・研究機関(独立行政法人)	2	2	2	1	0	7
医療・福祉	0	3	1	0	0	4
漁業	0	0	1	0	0	1
情報通信業	0	1	1	0	0	2
農業・林業	0	1	0	2	0	3
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	0	0	0	0
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0
運輸業・郵便業	0	0	0	0	0	0
不動産業・物品賃貸業	0	0	0	0	0	0
学術研究・専門・技術サービス	0	1	0	1	0	2
宿泊業・飲食サービス業	0	0	0	0	0	0
生活関連サービス業・娯楽業	0	0	0	0	1	1
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0
複合サービス業	0	0	0	0	0	0
分類不能の産業	5	9	0	3	2	19
合計	29	61	67	31	10	198

©LS四国 All rights reserved.

5

2.地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 ア 地域プラットフォームの環境整備支援等業務

「全国わくわく課協会」への 伴走支援



香川県の東端で、子どもたちが大好きなカブトムシを中心に、地域の拠点づくり、原木しいたけなどの就農者増、交流人口・関係人口の増加を目指し、産業廃棄物(有機物)の有効活用にもつなげる展開を描いています。観光協会、市役所、古民家家主、農家、地域活性化に取り組む団体等、さまざまな関係者によって仲間の層が厚くなり、2023年7月、拠点となる予定の古民家で初イベント「カブトムシをさわってみよう！」を成功させました。今後もさらに仲間づくりや拠点づくりを進めるために、ヒアリングや参考になる施設の視察などを行います。

「大月地域資源活用協議会」への 伴走支援



海の観光スポットがよく知られていますが、それを守っているのが豊かな山の自然です。『複数のぼちぼち山業で豊かな生活スタイルをつくる』をテーマに、山と関わる人々がぼちぼち暮らしていける町を目指しています。1年目は、資源を活かし、守りながら活動してきた個人をつないで、山に興味を持つ人を増やすことに重点を置きました。2年目は、情報発信、山主へのアプローチ、広葉樹の消費を増やす仕組みづくり、移住者の巻き込み、防災機能の維持・強化なども視野に入れていきます。すでに黒炭生産、お茶づくりなどが進行中です。

「かみかつ茅葺き学校」への フォローアップ



暮らし方が変わり、里山の恵みを活かす知恵や技術が失われつつあります。「今やったらまだ教えられる」そう言ってくださる集落の方から、受け継いできたことをつないでいくために活動しています。今年、茅葺き古民家の宿泊許可の取得に向けた準備等を進めるとともに、集落の魅力を自身が知り、訪れた方にも伝えられるようにと、専門家の力も借りながら学び始めました。そして、かみかつ茅葺き学校での日々の仕事を体験する“百姓の日”を設けて、集落をつないでいく仲間づくりを進めています。

新規採択・継続団体へのヒアリング（かみかつ茅葺き学校は事業化支援）

■（一社）全国わくわく課協会

日時：令和5年4月24日（月）13:00～15:00

場所：JA香川県誉水支店（香川県東かがわ市）とLINEによるビデオ通話

内容：事業概要や計画の詳細説明を受け、今後の進め方等について意見交換を行った。
その後、取組の拠点となる予定の古民家を視察した。

■（特非）大月地域資源活用協議会

日時：令和5年4月25日（火）11:00～12:00

場所：WebexMeetingsによるWEB会議

内容：大月町のコアメンバーによる今年度事業（環境整備2年目）の説明に対してヒアリングを実施し、不明な点について確認をした。

■かみかつ茅葺き学校

日時：令和5年4月21日（金）13:00～17:00

場所：かみかつ茅葺き学校（徳島県上勝町）

内容：事業化支援団体として今年度も採択となったため、ヒアリングに同席した。
団体事務局より昨年度の事業内容と結果等が報告され、今年度の活動計画の確認、施設内の見学、上勝町内で活動しているステークホルダーの拠点の視察を行った。

団体名	一般社団法人全国わくわく課協会
所在地	香川県東かがわ市三本松50-19
団体の目的	地域と共に歩み、日本全国のワクワクする地域づくりに寄与することを目的とし、各種事業を行う
活動地域	香川県東かがわ市を中心とする
地域資源活用を 活用して目指す地 域の姿	過疎化が進む東かがわ市および同市水主地域を中心として、移住者や交流人口の増加と経済圏の拡大を 目指す。
地域の現状・課題	市内全域が過疎地域指定を受ける地域で少子高齢化が進んでいる。東かがわ市は手続生産日本一の地域でもあ るが、若い世代や産業従事者の減少により、地域の産業の衰退が進んでいる。 市内には、3つの中一貫校があり認定された環境の中で学生生活を送っている。地域を超えた交流の機 会を増やし、地域間の連携も求められている。
地域が持つ資源	水主神社（県内初の由緒正一位863年）、県内最大の特別栽培産物（米の産地、西國の玉関口（立地）、 水主山、香木地蔵堂地 東かがわ市わくわく課、水主農業を考える会、東かがわ産物
取組内容	地域資源活用を 実施することで想 定される効果（実 効）
	（環境） 原木地蔵堂のかがわ伝統による登山の再生と保全、特別栽培米の普及促進に伴う水田水系、およ び瀬戸内海の水質保全に寄与。 （経済） 空き家を活用したコワーキングスペースなど、交流人口増加に伴う地域経済の拡大と移住の促進。 （スタートアップ支援） 企業家による地域資源の活用による地域経済の拡大と移住の促進。 （社会） 地域住民の環境保護意識の高まり、身近なものの科学的発見（バイオメタリックス）を通 し学習意欲と好奇心に満ちた子どもたちの教育環境整備。



2.地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

イ 中間共有会



日 時:令和5年10月11日(水)13:00~16:30

場 所:(特非)由良野の森(愛媛県久万高原町)

参加者:約18名

内 容:

■取組内容発表、意見・情報交換

(1)NPO法人大月町地域資源活用協議会

①取組内容発表

②いいところ・質問貼りだし

③いいところ共有、質問回答

④活動団体からの課題相談

(2)一般社団法人全国わくわく課協会 同様に①~④

■講評

■由良野の森エクスカージョン(NPO法人由良野の森)

■「多様な関係者との協働による森林再生」取組発表

NPO法人由良野の森 代表理事 鷲野 宏 氏

2.地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

キ 地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会の開催

①物部川流域生態系保全から考える持続可能な地域づくりへのアプローチ ～新たな仕組み「自然共生サイト」をどう活かす？



日 時:令和6年1月31日(水)13:00~15:30
場 所:のいちふれあいセンター(高知県香南市)、
ZoomによるWEB会議

参加者:33名

後 援:物部川21世紀の森と水の会、高知県、香南市

内 容:前半は団体による奥物部におけるシカ害からの森林再生の取組報告、環境省からの自然共生サイトの仕組みと可能性、実際に申請を手がけた実感等についての情報提供があった。後半は、申請要件と生物多様性の評価等が話題となり、活発な意見交換が行われた。申請にあたってのアドバイスもあり、自然共生サイトについて理解が進んだという感想を多数得た。

■情報提供

- ・押岡茂紀「奥物部の自然の現状から流域の未来を考える」
- ・山田浩昭「『自然共生サイト』の仕組みと可能性」
- ・武智渉「県有林の『自然共生サイト』への登録を契機として」

■パネリストとの意見交換

パネリスト:登壇者6名、ファシリテーター:四国EPO



②四国の森林活用ダイアログ～自治体による森林経営管理、J-クレジットの発行～

日時：令和6年2月13日（火）15:00～17:15

場所：WebexMeetingsによるWEB会議

参加者：60名（自治体・金融機関、他）

主催：ローカルSDGs四国（四国EP0、中国四国地方環境事務所四国事務所）、
四国森林管理局、四国経済産業局、四国財務局

内容：森林をとりまく現状や課題、持続可能な森林管理の手段の1つであるJ-クレジット登録の流れや活用事例、カーボンクレジット市場の動向、企業の取組など、森林管理に関する情報を一元的に得るとともに今後の展開を考える機会となった。



■情報提供

- ・「森林経営管理の現状と課題」（四国森林管理局）
- ・「森林由来のJ-クレジットの活用について」（四国経済産業局、PwC Japan有限責任監査法人）
- ・森林経営管理制度へのPFS/SIBスキーム導入の可能性について」（株日本政策投資銀行）
- ・林業・林政DX～J-クレジット発行のデジタルプラットフォーム構築支援（株THEMIX Green）

■登壇者との意見交換（個別ブース25分×2回）

3. 基本業務

ア Webサイト等を活用した情報発信、PR

EPO	HP		Facebook			インスタ		X (旧Twitter)		メルマガ		データ ベース 登録	訪問者 数
	掲載数	閲覧者数	掲載数	フォロ ワー数	リーチ数	掲載数	フォロ ワー数	掲載数	フォロワー 数	配信件数 (月1回配 信)	登録者数		
R5	893 (74/月)	61,812 (5,151/月)	12710 (1,059/ 月)	721	13,844 (1,153/ 月)	115 (9/月)	109 名	215 (17 /月)	105名	12 (1 /月)	971名	43,363	482 (40 /月)

環境省とNPO法人えひめグローバルネットワークによる「協働」運営拠点

四国EPO 四国環境パートナーシップオフィス Shikoku Environmental Partnership Office

メルマガ登録 お問い合わせ English

サイト内を検索...

四国EPOについて 四国EPOの活動 四国の環境情報 四国の環境団体



四国の環境情報 四国の環境情報一覧

2024/02/16 イベント 第3回ローカルSDGs四国表彰・表彰式 (2/22) [四国,香川県] NEW

2024/02/16 イベント 令和5年度第5回脱炭素型ライフスタイル推進リーダー養成講座 [香川県] NEW

2024/02/16 イベント 第12回 防災・危機管理人材養成シンポジウム～四国防災・危機管理

Facebook 環境省 四国環境パートナーシップ 721 フォロワー

ページをフォロー シェアする

四国EPOについて

しこくえぽ

Shikoku Environmental Partnership Office (Shikoku EPO)

https://4epo.jp/

四国EPOの活動

四国の環境情報

四国の環境団体

四国EPOの活動

四国の環境情報

四国の環境団体

2023年9月8日、香川大学 林野キャンパスで2つの災害対策イベントを開催しました。

その様子レポート！

10:00～12:00 災害対策イベント

13:00～15:00 災害対策イベント

対策いろいろ防災ESD

ESD - Education for Sustainable Development

Instagram

ホーム 検索 発見

環境省 SHIKOKU EPO

国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Press Release

環境省 「気候変動・脱炭素都市ウィーク」 2024年2月26日～3月1日 都市の気候変動・脱炭素化に関連する3つのイベントを開催！

大雨災害をなす

シンポジウム 「気候変動×生物多様性による豊かな地域づくり～食と環境の未来を中心に～」 2024年2月29日 (水) 14:00～17:00

食品ロスの削減

2/14 wed

2023年度 第2回ウォータープロジェクト 「グッドプラクティス塾」の開催

2024年2月28日 (水) 13:30～15:00

【開催形式】オンライン会議方式 (Zoomウェビナー使用)

【主催】環境省

【締切日】令和6年2月28日 (水) 13:30 (開始直前まで申込可能です。)

四国ESDバーチャル大学 (ESDVU)

『防災×CCESD!』 災害状況バーチャル体験

徳島SDGsフォーラム

徳島SDGsフォーラム 3/6 14:00～15:30

チャットイベント

2.16

四国EPO

講演アーカイブ

四国の森林活用ダイアログ

Facebook

環境省 四国環境パートナーシップ 720 フォロワー

ページをフォロー シェアする

2023年度 第2回ウォータープロジェクト 「グッドプラクティス塾」の開催

2024年2月28日 (水) 13:30～15:00

【開催形式】オンライン会議方式 (Zoomウェビナー使用)

【主催】環境省

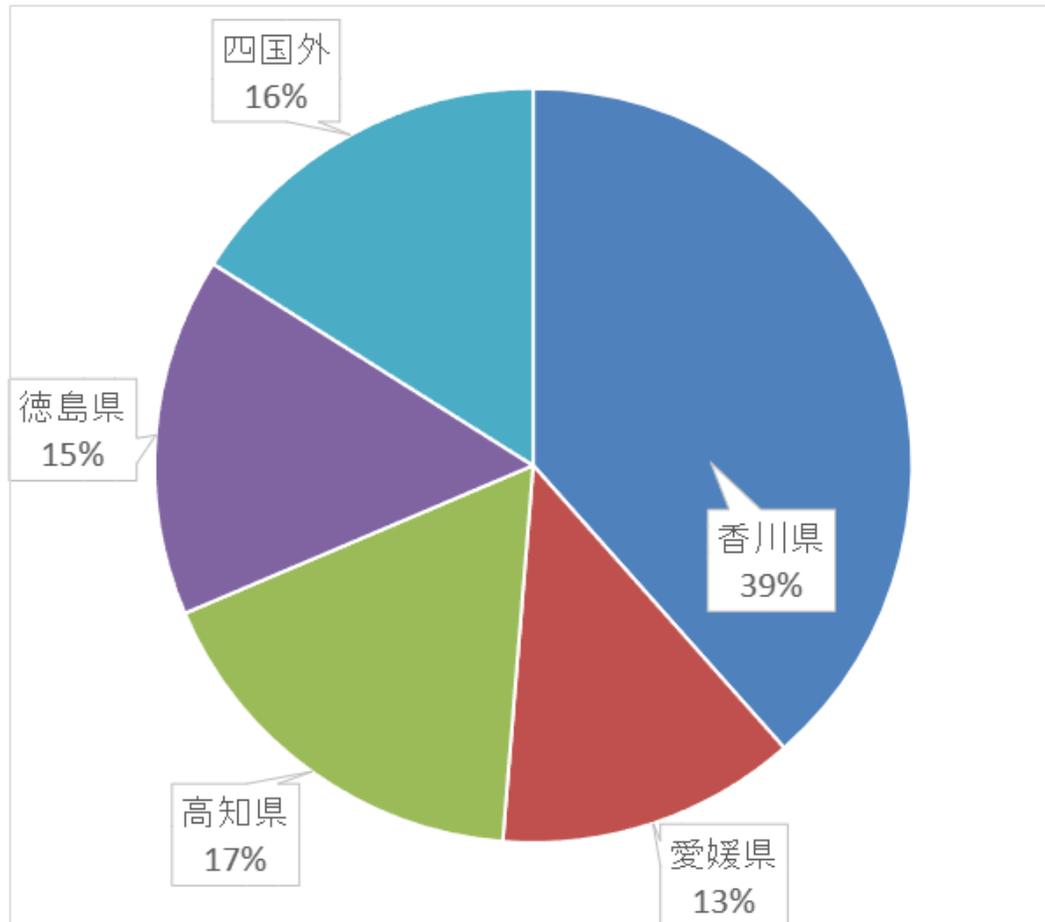
【締切日】令和6年2月28日 (水) 13:30 (開始直前まで申込可能です。)

3. 基本業務

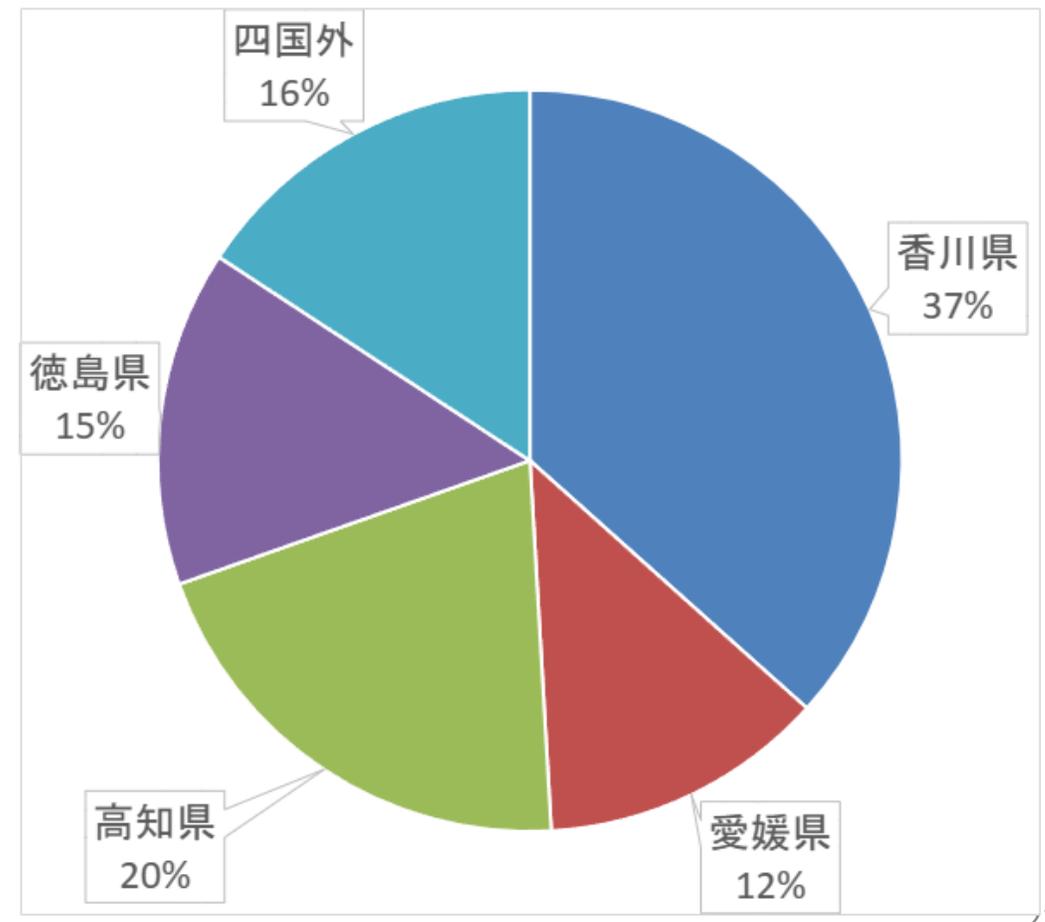
イ 相談対応、対話の場づくり等

相談対応（地域内訳）

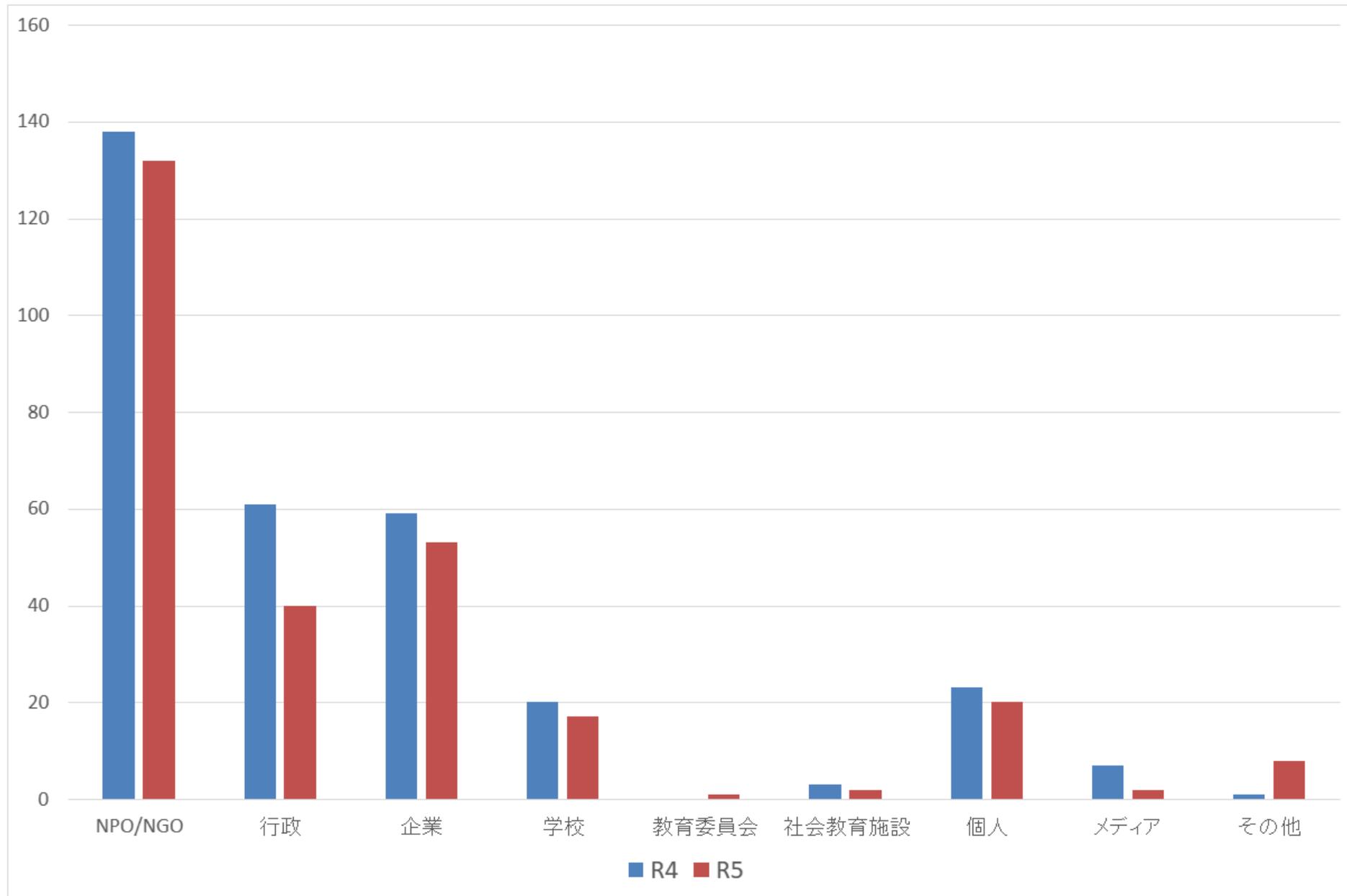
R4(N=316)



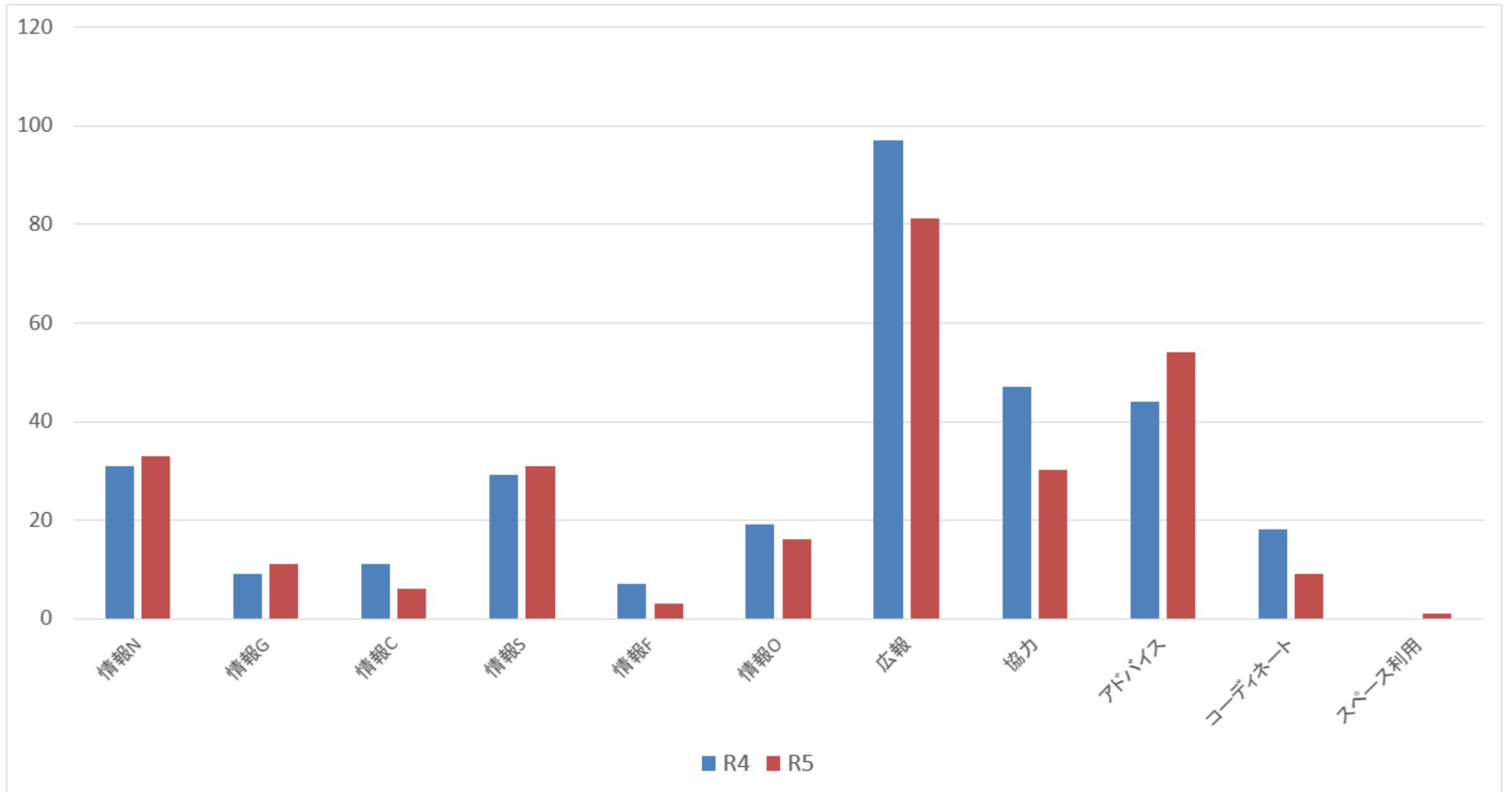
R4(N=275)



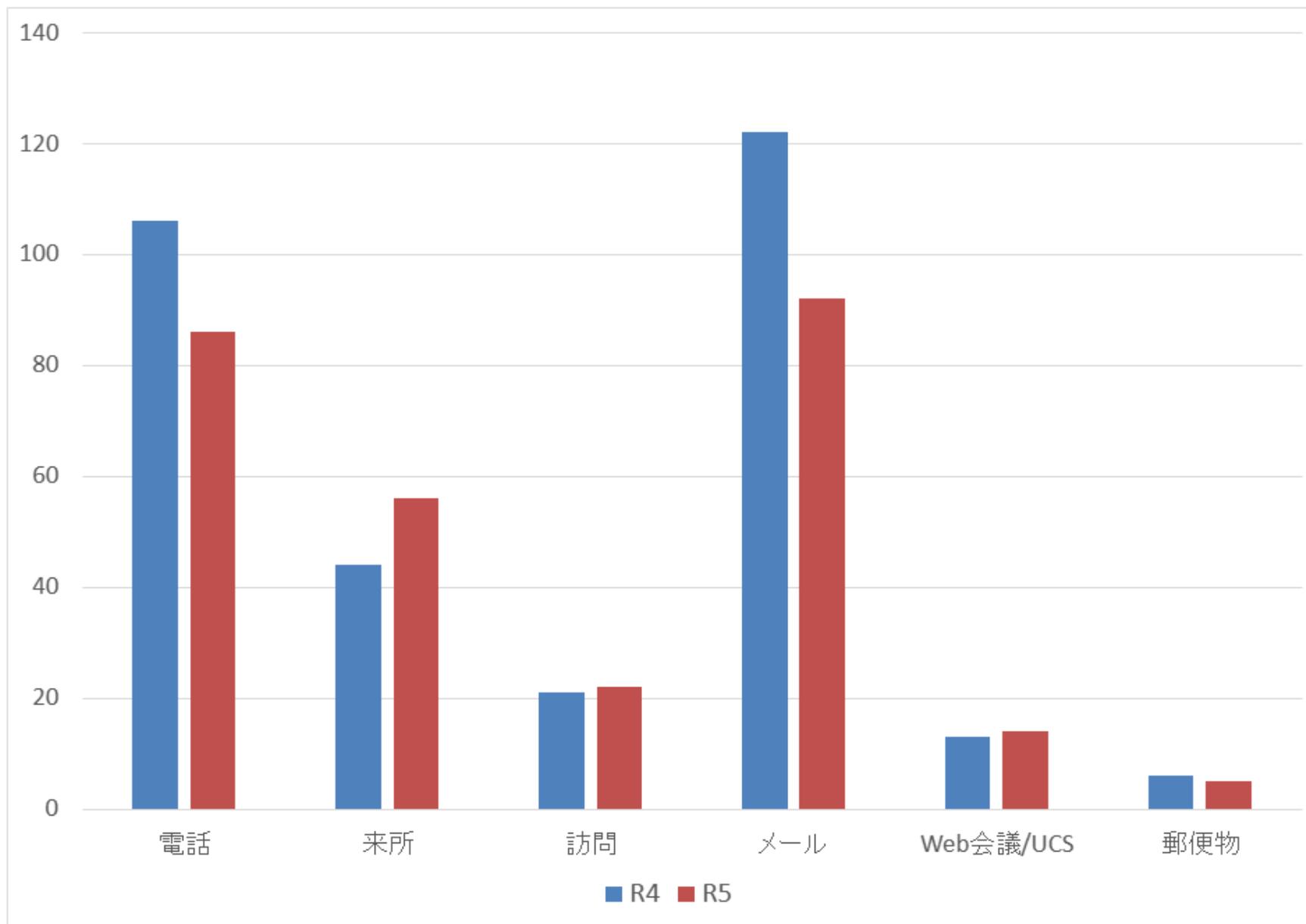
相談対応（セクター内訳）



相談対応（要望内訳）



相談対応（コンタクト方法）



■令和5年度気候変動講演会

日時：令和5年10月21日（土）13:30～15:30

場所：かがわ国際会議場（香川県高松市）

参加者：約130名

共催：香川県、香川県地球温暖化防止活動推進センター（せとeco・かがわ）、
中国四国地方環境事務所四国事務所、高松地方気象台、高松市

内容：昨年と同じくアラスカで活躍する写真家を講師として招き、講師が撮影した写真やエピソードを通して、アラスカの雄大な自然、迫る気候変動の影響などについて知る機会となった。四国EPOは司会進行を担い、それぞれの主体と役割分担して、協働で実施することができた。



■環境白書を読む会

日時：令和5年10月23日（月）13:00～14:30

場所：四国大学（徳島県徳島市）、ZoomによるWEB会議

参加者：約80名

共催：（特非）徳島環境カウンセラー協議会

内容：令和5年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書について、テーマや狙い等を環境省の担当者が解説し、環境政策を自分事としてどのように対応していくかなどを考え、それに基づいた今後の活動内容について意見交換を行った。



4. 四国EPO運営委員会の開催



7月13日
第1回運営委員会
(ハイブリッド開催)



3月13日
第2回運営委員会
(ハイブリッド開催)